

令和8年4月21日

工事名：南町中学校長寿命化改修建築主体工事

質疑事項
<p>1. A-458～472 1～3階廊下において、増築棟接続部に「仮設間仕切（CBt=150）設置」の記載がありますが、参考内訳書には仮設間仕切の記載がありません。本工事では該当無しと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>2. A-811 床下点検口詳細図において、撤去跡埋殺しの図面では「金属系あと施工アンカーM10」と記載がありますが、参考内訳書には前記アンカーの記載がありません。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>3. 樹脂アンカーの埋込長さの記載がありません。ご指示願います。</p> <p>4. 樹脂アンカーの施工にあたり、鉄筋探査及びアンカー引張試験は行うのでしょうか。ご指示願います。</p> <p>5. A-301～475、内訳書 P65、69 校舎棟の内装改修において、意匠図では壁シナベニア撤去＋新設となっており、下地胴縁の撤去＋新設の記載がありませんが、内訳書では壁下地撤去＋胴縁新設となっております。シナベニア改修・新設部の下地胴縁は、撤去および新設と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>6. 下地胴縁の仕様は、縦：45×45@455、横：18×45@455程度と考えて宜しいでしょうか。</p>
回 答
<p>1. 増築棟接続部の仮設間仕切りは、内部養生費として計上しています。</p> <p>2. 図面で「金属系あと施工アンカーM10」と記載していますが、正しくは「樹脂アンカーD10」です。</p> <p>3. 使用するメーカーの仕様通りとして下さい。</p> <p>4. 鉄筋探査及びアンカー引張試験は不要です。</p> <p>5. 壁下地撤去は胴縁が再使用可能かについての調査を想定しています。その後補修が必要な箇所があった場合に胴縁施工手間で補修するものとして計上しています。</p> <p>6. 記載のとおりで宜しいです。</p>

